

平成 29 年度
漁業担い手満足度調査 報告書

平成 30 年 4 月
岩手県農林水産部水産振興課

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
1 「漁業担い手満足度」	
2 満足度構造分析	
III 総 括	10
参考資料（調査票）	12

I 調査の概要

1 調査の目的

本県におけるなりわいとしての漁業の魅力について、漁業者の就業に対する満足度を指標として定量化するとともに、その影響要因と経年変化を明らかにし就業環境の改善などの漁業担い手対策の参考とするため、地域の漁業をけん引している岩手県漁業士[※]を対象に意識調査を行うもの。

※ 本県の漁業者のうち優れた経営や模範的な活動などで知事の認定を受けた者。

2 調査設計

- | | |
|------------|----------------------------------|
| (1) 調査対象 | 岩手県漁業士（平成 29 年 9 月 20 日現在の名簿登載者） |
| (2) 調査対象者数 | 95 人（青年漁業士 20 人、指導漁業士 75 人） |
| (3) 調査方法 | 設問票によるアンケート調査（郵送法） |
| (4) 調査時期 | 平成 29 年 9～11 月 |

3 調査項目

- (1) 「漁業担い手満足度」
- (2) 個別満足度（「漁業担い手満足度」の要因を分析するための 40 項目）

4 実施主体

岩手県農林水産部水産振興課

5 回収結果

- (1) 有効回収数 54 人（男性 49 人、女性 5 名）
- (2) 回収率 56.8%

6 報告書の見方

- (1) グラフ中の「n」は、各項目の回答者数を表す。
- (2) 回答の構成比は、各項目の回答者数を基数として小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、数値の合計が 100.0%にならない項目がある。
- (3) 「漁業担い手満足度」は、次の式により求めた。

$$\text{総合満足度（平均点）} = \frac{(\text{「非常に満足」} \times 3 \text{ 点}) + (\text{「満足」} \times 2 \text{ 点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{ 点}) + (\text{「ふつう」} \times 0 \text{ 点}) + [\text{「やや不満」} \times (-1 \text{ 点})] + [\text{「不満」} \times (-2 \text{ 点})] + [\text{「非常に不満」} \times (-3 \text{ 点})]}{(\text{全回答者数})}$$

この算出方法では、平均点は-3.00 点～3.00 点の範囲となり、0.00 点が中間点となる。

【参考：設問の構成】

◆ 「漁業担い手満足度」

項目	設問	評価基準※
総合満足度	あなたは、総合的に考えて、漁業者として働いていることにどの程度満足していますか。	7段階評価 ①非常に満足 ②満足 ③やや満足 ④ふつう ⑤やや不満 ⑥不満 ⑦非常に不満

※ 集計において、3点(非常に満足)～～3点(非常に不満)で採点し、平均点を算出した。

◆ 個別項目（40項目）

要因区分	番号	項目	設問	評価基準
仕事	(1)	やりがい	漁業にやりがいを感じている。	4段階評価 ①そう思う ②まあそう思う ③あまり そう思わない ④そう思わない
	(2)	将来への希望	漁業者としての自分の将来に希望を感じている。	
	(3)	責任感	国民に食料を供給する責任ある仕事だと思う。	
	(4)	能力	自分の能力が活かせる仕事だと思う。	
	(5)	自己の生産物への執着	自分の生産物に誇りをもっている。	
	(6)	地域ブランドへの執着	地域ブランドに誇りをもっている。	
	(7)	自然との調和	自然に恵まれた環境での仕事だと思う。	
	(8)	継続意欲	定年が無く、体力と意欲が続く限り働き続けられる。	
自己の成長	(9)	成長期待	仕事を通じて人として成長できると思う。	同上
	(10)	自己啓発	能力向上（試験、研究、研修、講習会等）の機会に恵まれている。	同上
経営目標	(11)	経営目標	自分には明確な経営目標がある。	同上
	(12)	経営規模の拡大志向	現在の漁業経営の規模を拡大したい。	
	(13)	共同生産への興味	他の漁業者と連携しての共同生産に興味がある。	
	(14)	後継者	後継者がいる（見込みを含む）。	
他の漁業者との関係	(15)	尊敬できる漁業者	地域に尊敬できる漁業者がいる。	同上
	(16)	漁業者間の信頼	必要なときに他の漁業者に相談できる環境にある。	
	(17)	就業希望者への支援	地域には漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援できる環境がある。	
地域住民や消費者との関係	(18)	地域とのつながり	近隣住民とのつきあいが多く、地域とのつながりが深い。	同上
	(19)	伝統・文化	地域の郷土食や祭り等の伝統や文化を大切にしている。	
	(20)	消費者とのつながり	消費者と対話する機会を確保している。	
漁協との関係	(21)	漁協への帰属意識	所属する漁協の組合運営や経営方針に共感している。	同上
	(22)	漁協の目指す姿	所属する漁協の目指す姿（「地域再生営漁計画」等）を理解している。	
	(23)	漁業秩序の維持	地域の漁業者はルールを守って操業している。	
	(24)	漁業権行使	十分な漁業権の行使機会に恵まれている。	
	(25)	漁協との関係	必要なときに漁協に相談できる環境にある。	
	(26)	役割の発揮	地域には年齢、経験、性別に応じて漁業生産の役割を発揮できる環境がある。	
労働条件	(27)	仕事量	現在の自分の仕事量は妥当なレベルだと思う。	同上
	(28)	労働時間	現在の自分の労働時間は妥当なレベルだと思う。	
	(29)	休日・休暇	休日や休暇は満足いくレベルで取得できている。	
	(30)	労働力	漁業生産のための十分な労働力が確保できている。	
	(31)	設備・機器	漁業生産のための十分な設備・機器が整っている。	
	(32)	漁場環境	漁場の生産環境は良好である。	
収入	(33)	単価	生産物の単価は妥当な水準だと思う。	同上
	(34)	評価基準・体系	生産物の評価基準や評価体系は明確だと思う。	
	(35)	収入	現在の自分の収入は妥当な水準だと思う。	
	(36)	努力の反映	自分の努力は収入に反映されていると思う。	
生活条件	(37)	住環境	満足な住環境が確保できている。	同上
	(38)	買い物	生活必需品がいつでも買える環境が確保できている。	
	(39)	情報入手	必要な情報を入手できる環境にある。	
	(40)	交通の便	交通の便に不自由しない環境にある。	

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

男女別	回答者数	構成比
男性	49	90.7%
女性	5	9.3%

漁業士区分別	回答者数	構成比
青年漁業士	8	14.8%
指導漁業士	46	85.2%

年齢階層別	回答者数	構成比
30代(30～39歳)	3	5.6%
40代(40～49歳)	14	25.9%
50代(50～59歳)	23	42.6%
60代(60～66歳)	14	25.9%

主な漁業種類別	回答者数	構成比
漁船漁業	4	7.4%
養殖業	39	72.2%
採介藻漁業	10	18.5%
その他	1	1.9%
不明	0	0.0%

地区別	回答者数	構成比
県北	14	25.9%
宮古	16	29.6%
釜石	9	16.7%
大船渡	14	25.9%
不明	1	1.9%

年収階層別※	回答者数	構成比
～ 200万円未満	3	5.6%
～ 400万円未満	3	5.6%
～ 600万円未満	9	16.7%
～ 800万円未満	3	5.6%
～1,000万円未満	7	13.0%
1,000万円以上	25	46.3%
不明	4	7.4%

※ 漁業外収入を含む平成28年度の実績。

1 「漁業担い手満足度」

ア 構成比

「非常に満足」～「やや満足」の回答者の割合は66.7%（平成28年度比4.8ポイント増）と、向上しています。

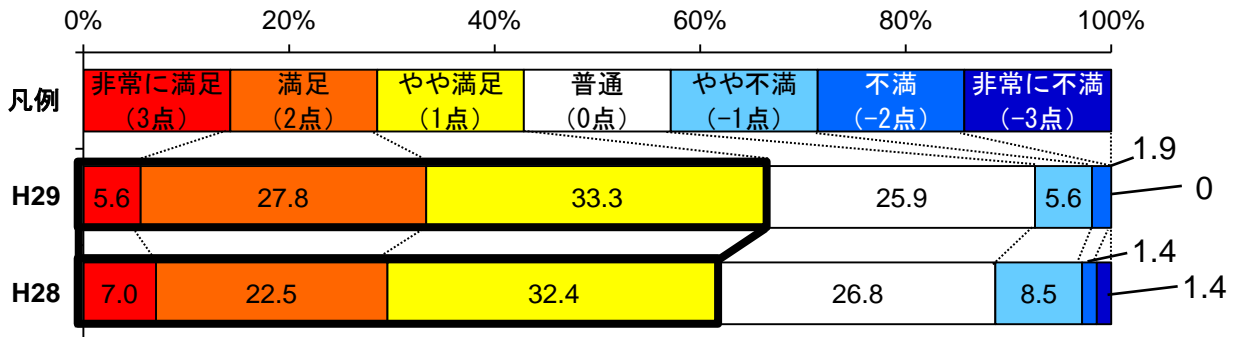


図1 漁業担い手満足度の年度別構成比

イ 回答者全体

「漁業担い手満足度」は0.96点（平成28年度比0.13点増）と、向上しています。

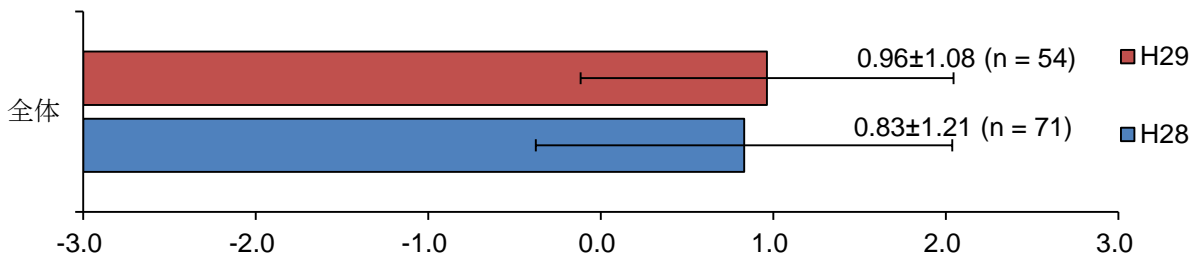


図2 回答者全体の「漁業担い手満足度」

図中の数値は平均±標準偏差、()内は有効回答者数を表す。

ウ 漁業種別の

「漁船漁業」は1.25点、「養殖業」は1.05点、「採介藻漁業」は0.50点、となり、平成28年度に比べると、「漁船漁業」が向上（1.25点増）し、「養殖業」と「採介藻漁業」はほぼ横ばい（それぞれ0.01点減、0.05点増）となりました。

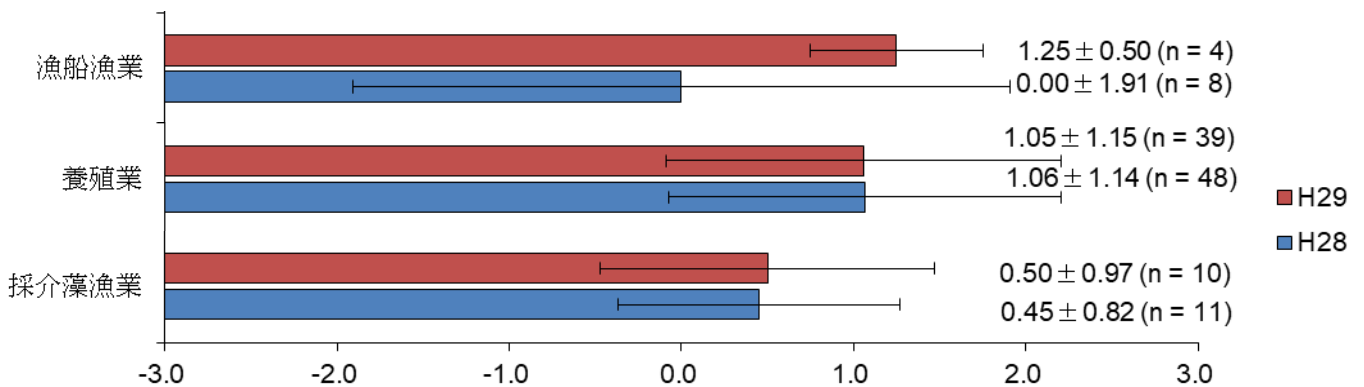


図3 「漁業種別」の「漁業担い手満足度」

図中の数値は平均±標準偏差、()内は有効回答者数を表す。

2 満足度構造分析

ア 回答者全体

◆ 「漁業担い手満足度」の評価に関係する要因

「漁業担い手満足度」の評価に関係する要因を明らかにするため、40の個別項目について満足の高さを評価していただき、それぞれの個別項目の評価と「漁業担い手満足度」の評価の関係の強さ（相関関係）を分析し、その結果を、図4に示しました。

分析の結果、「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「生産物への誇り」、「自己啓発」、「経営目標」、「漁業者間の信頼」、「漁協への信頼」、「努力の反映」の9つの個別項目（以下「重要項目」という。）の満足が高い回答者ほど、「漁業担い手満足度」も高いことが分かりました。

この内、「やりがい」や「将来への希望」は、平成27・28年度の調査でも「重要項目」となっており、特に「漁業担い手満足度」に強く関係する要因であると考えられます。

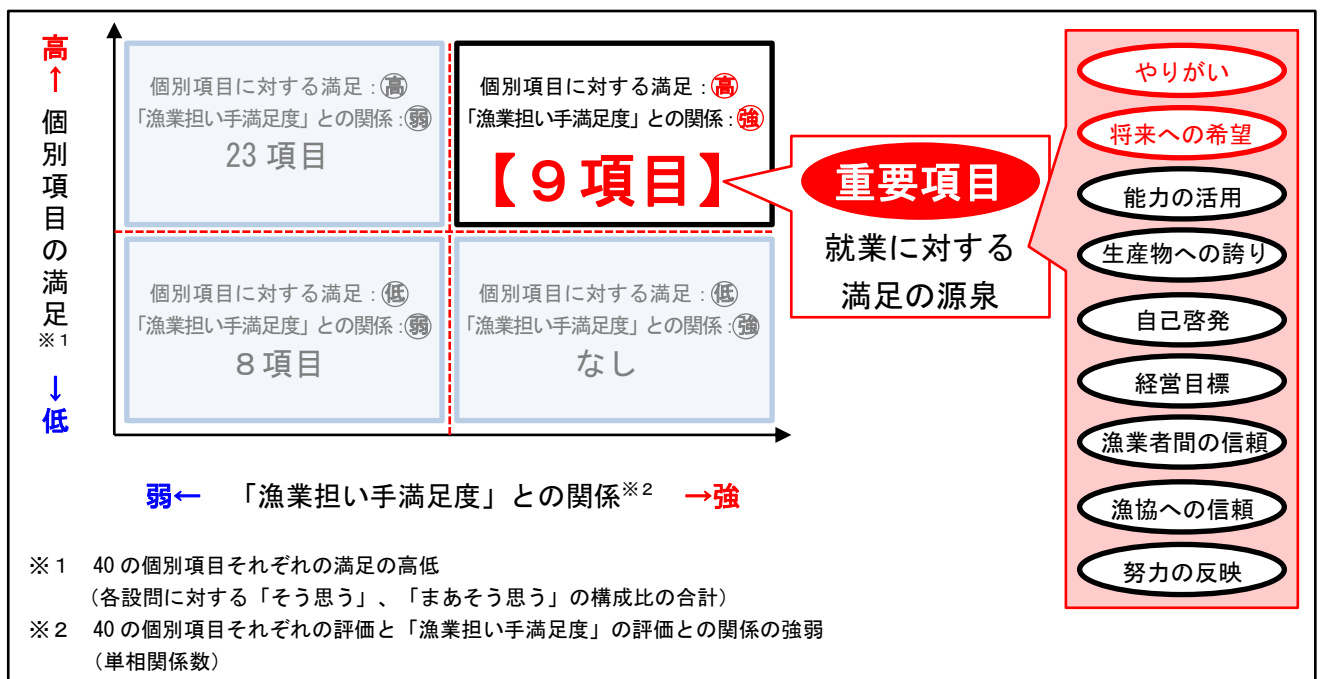


図4 「漁業担い手満足度」の評価に関係する要因

◆ 重要項目に係る平成 28 年度調査結果との比較

平成 28 年度において重要項目であった 6 つの個別項目の満足の高さと平成 29 年度の値を比較した結果を図 5 のとおり、「将来への希望」、「住環境」、「仕事量」、「労働時間」の満足が向上しました。

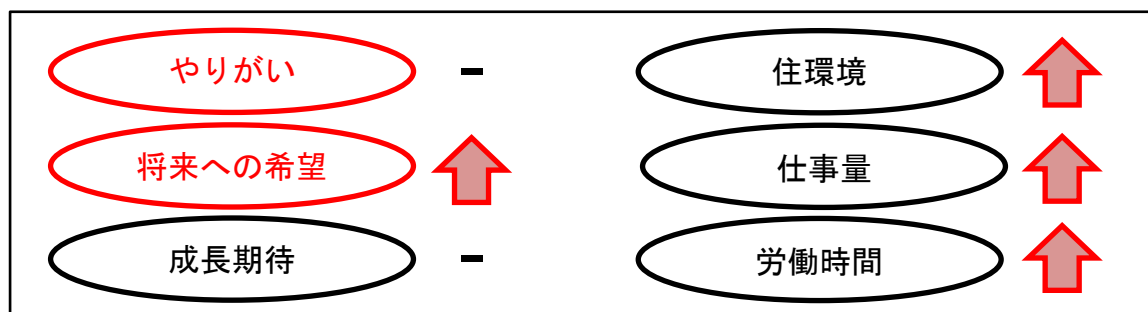


図 5 平成 28 年度における重要項目の満足の変化（H28 対比）

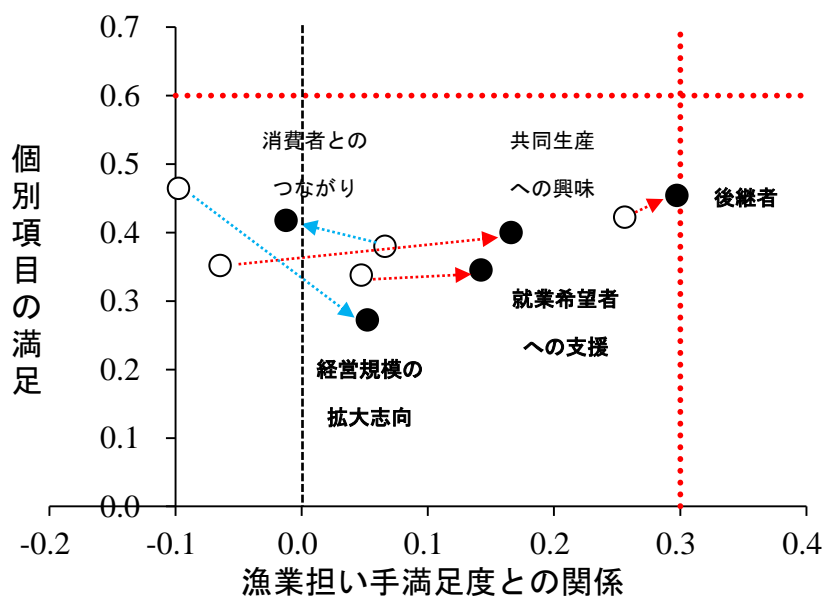
なお、平成 29 年度に新たに重要項目として挙げられた個別項目の満足の高さと平成 28 年度の値を比較した結果、特に「自己啓発」、「努力の反映」の満足が向上しました。

◆ ワースト5項目

40項目のうち、個別項目の満足が低いものは、順に「経営規模の拡大志向」、「就業希望者への支援」、「消費者とのつながり」、「共同生産への興味」、「後継者」となりました。

「経営規模の拡大志向」については、漁業者の高齢化や労働力不足、漁場が有効活用できない状況が影響していると考えられます。

上記5項目のうち、「就業希望者への支援」、「後継者」の2項目が後継者の確保・育成に関するものでした。現状、これら5項目の「漁業担い手満足度」への関係は弱いですが、年々関係性が強くなっています。



	平成 28 年度からの変化	
	個別項目に対する満足	「漁業担い手満足度」との関係
経営規模の拡大志向	↓ 減少	⇒ 強く
就業希望者への支援	— 維持	⇒ 強く
消費者とのつながり	↑ 向上	⇐ 弱く
共同生産への興味	↑ 向上	⇒ 強く
後継者	↑ 向上	⇒ 強く

図6 ワースト5項目の満足度の変化

図中の白丸（○）が平成28年度、黒丸が（●）が平成29年度の個別項目の満足を示す。

イ 漁業種の別

40の個別項目を9つの要因区分（p.2の【設問の構成】を参照）で再分類し、漁業担い手満足度に対して影響の大きな要因を調べたところ、以下のような傾向が見られました。

「漁船漁業」では、「収入」、「労働条件」、「自己の成長」が満足度と強い関係が見られました。「養殖業」では、「仕事」、「自己の成長」、「漁協との関係」、「他の漁業者との関係」が満足度と強い関係が見られました。「採介藻漁業」では、「仕事」、「漁協との関係」、「他の漁業者との関係」、「地域住民と消費者との関係」が満足度と強い関係が見られました。

また、個別項目では、「漁協への帰属意識」に対する満足で異なる傾向が見られました。「漁船漁業」や「養殖漁業」では、満足度が低く、影響度が高い一方で、「採介藻漁業」では、満足度が高く、影響度が低い逆の傾向が見られました。一方、「単価水準」等の収入面に関しては、各漁業種ともに昨年度より満足の向上が見られました。

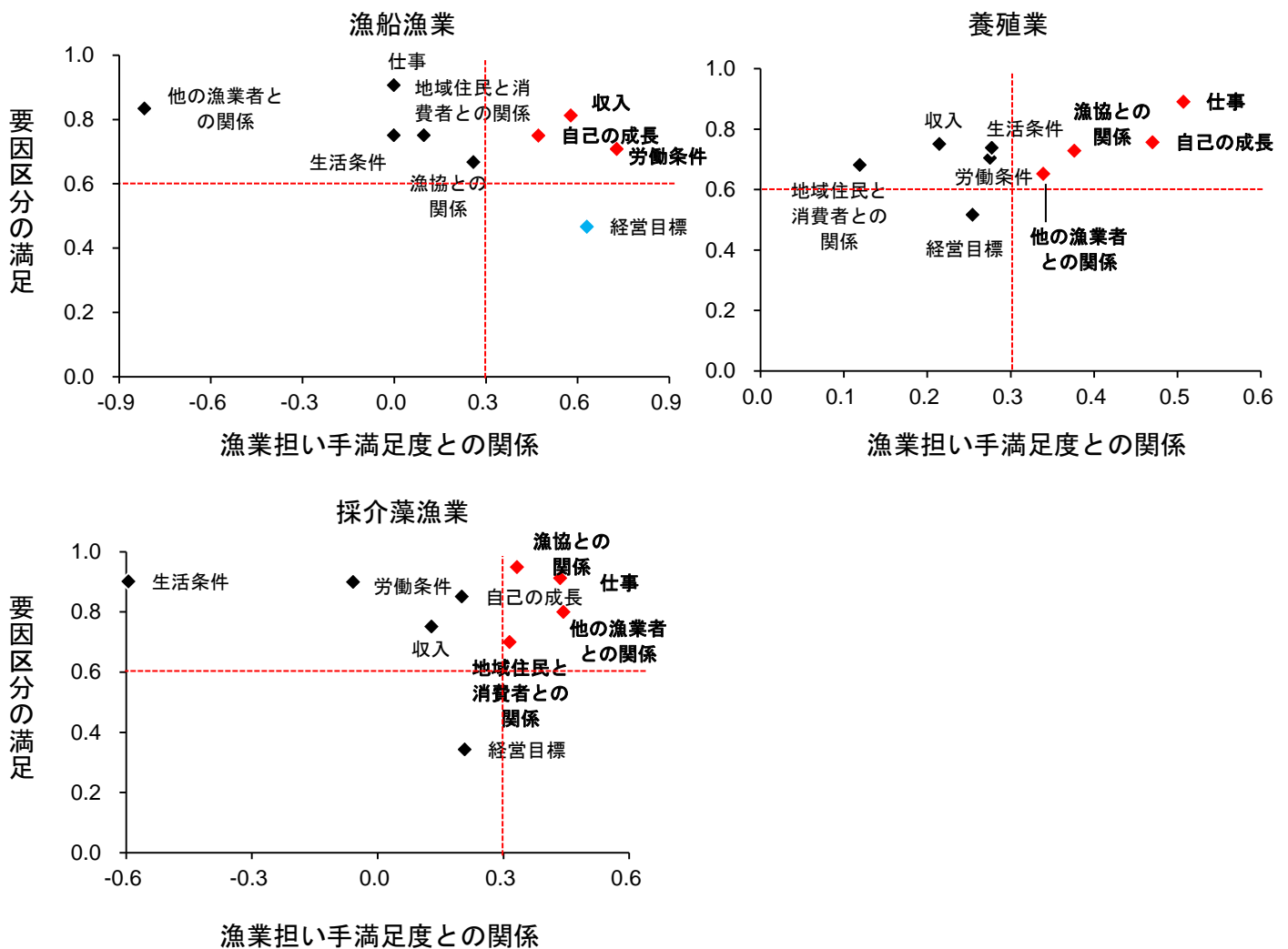


図7 漁業種別の構造分析（要因区分）と特徴

図中の菱形（◆）は要因区分を表し、赤色（◆）が重要な要因、青色（◆）が課題となる要因区分を示す。

ウ 地域の別

回答者の所属漁協から沿岸4地区（県北、宮古、釜石、大船渡）に分類し、漁業担い手満足度に対して影響の大きな要因を調べたところ、地域ごとに異なる傾向が見られました。

県北地域では、「仕事」、「他の漁業者との関係」が重要な要因区分となっています。

宮古地域では、重要な要因区分が5項目と多いほか、「経営目標」が課題の一つとなっています。

釜石地域では「生活条件」の1項目のみが重要な要因となっています。

大船渡地域では、宮古地区と類似した傾向が見られますが、他地区では重視されていない「漁協との関係」が重要な要因となっています。

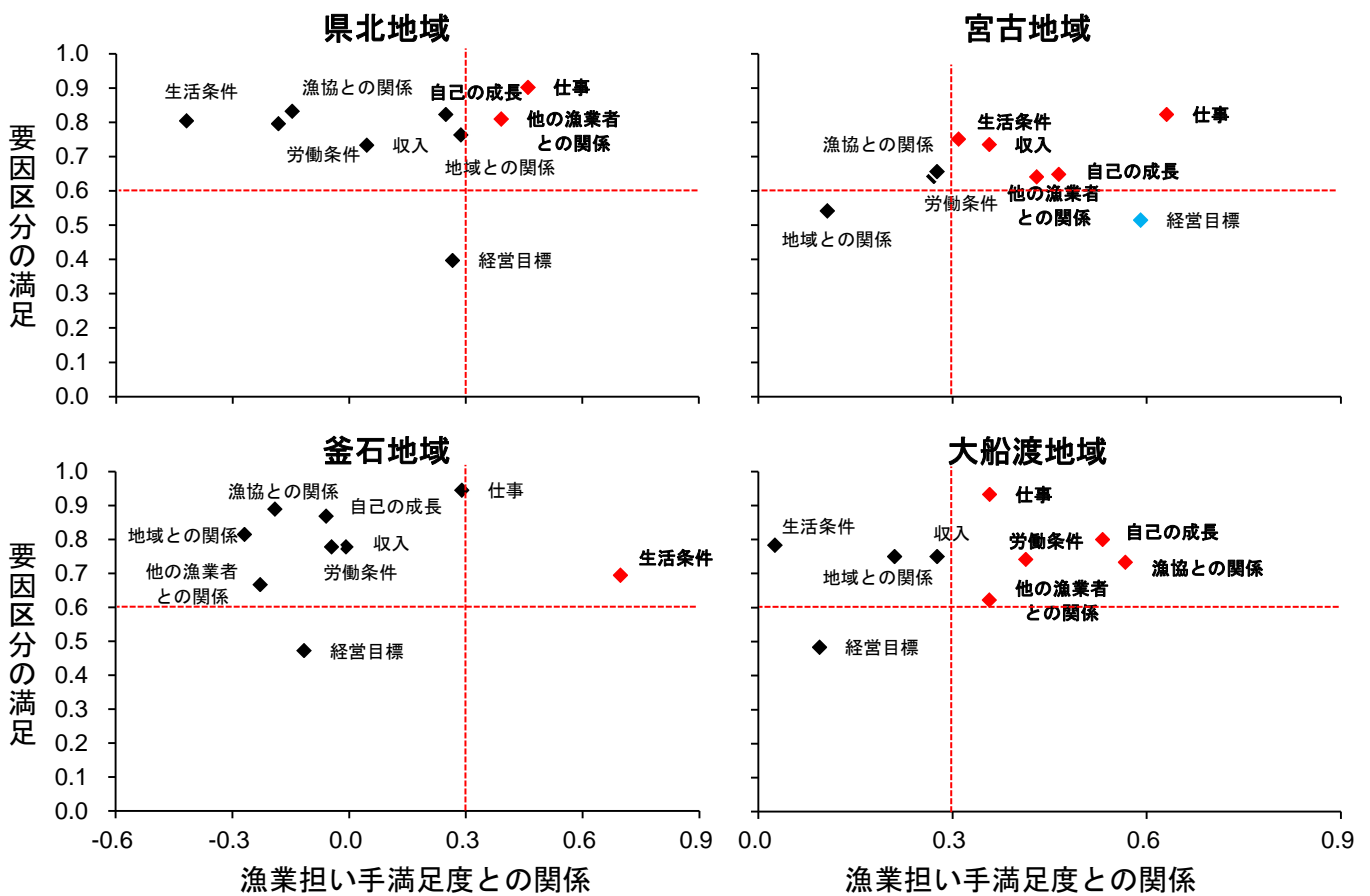


図8 地域別の構造分析（要因区分）と特徴

図中の菱形（◆）は要因区分を表し、赤色（◆）が重要な要因、青色（◆）が課題となる要因区分を示す。

Ⅲ 総括

1 「漁業担い手満足度」について

ア 回答者全体

0.96点（平成28年度比0.13点増）と、向上しています。

イ 「漁業種」の別

「漁船漁業」が1.25点（平成28年度比1.25点増）と向上しましたが、「養殖業」は1.05点（同0.01点減）、「採介藻漁業」が0.50点（同0.05点増）とほぼ横ばいでした。

※ただし、漁船漁業については有効回答数が少ないため、解釈には注意が必要です。

2 満足度構造分析について

ア 回答者全体

40の個別項目のうち、「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「生産物への誇り」、「自己啓発」、「経営目標」、「漁業者間の信頼」、「漁協への信頼」、「努力の反映」の9つの重要項目の満足が高い回答者ほど、「漁業担い手満足度」が高い傾向にありました。平成28年度調査とは重要項目で異なる傾向が見られました。「やりがい」、「将来への希望」は平成27年度から3年連続で重要項目に含まれることから、漁業就業の満足度を特に左右する要因と考えられます。

今回調査で「漁業担い手満足度」が向上している理由は、重要項目のうち、「将来への希望」、「努力の反映」、「自己啓発」に対する満足が平成28年度と比較して向上していること、また、平成28年度重要項目であった「仕事量」、「労働時間」、「住環境」の満足度も向上していることから、なりわいや暮らしの再建が進んでいることを反映していると考えられます。しかし、「経営規模の拡大志向」の満足が低下していました。この傾向は、漁業者の高齢化や労働力不足、漁場が有効活用できない状況が影響していると考えられるため、これらを解決するための施策がより求められていると考えられます。

イ 「漁業種」の別

漁業種毎に満足度に影響を与える要因に違いが見られました。「漁船漁業」では「収入」と「労働条件」が、「養殖業」では「仕事」と「自己の成長」が、そして「採介藻漁業」では「漁協との関係」と「他の漁業者との関係」が漁業担い手満足度と強い関係が見られ、漁業種毎にモチベーションとなる要因に違いが見られました。

また、個別項目では「単価水準」等の収入面に関しては、各漁業種ともに昨年度より満足の向上が見られました。これは昨年度の主要魚種の不漁による単価の向上による収入面での満足の向上が影響していると考えられます。

ウ 地域の別

「仕事」に関する漁業担い手満足度が高い傾向は各地域で同じでしたが、4地域毎に異なる傾向が見られました。県北地域は「漁業者との関係」を、宮古地域はバランスよく各区分の満足度が高く、釜石地域は「生活条件」を、大船渡地域は「自己の成長」や「漁協との関係」を重要視する傾向が見られました。これらのことから、地域毎の漁業担い手満足度に影響を与える特徴に沿った施策が必要だと考えられます。

3 今後の対応について

県は、今回の調査結果を漁協や市町村と共有し、平成30年度の担い手対策に取り組めます。また、本調査を平成30年度以降も実施し、取組の効果を把握・評価します。

平成 29 年度 漁業担い手満足度調査【調査票】

本県の漁業就業者は、後継者不足と相まって高齢化と減少が続いており、新規就業者の確保が喫緊の課題です。本調査は、課題を解決するにあたり、漁業者の先達である岩手県漁業士の皆さんを対象に日々の仕事に対する満足度やその源泉を把握し、本県における漁業就業の魅力として誇れるもの、不足しているものとして整理し、その結果を関係者と共有することで、漁家子弟や未経験者の漁業就業への動機付けのほか、就業環境の改善を図るための参考とするものです。

本調査の趣旨を御理解いただき、御協力をお願いします。

※ 本調査で得た情報については、目的以外には使用しません。

また、集計結果のみを使用するため、個人情報がそのまま外部に漏れることはありません。

◆ 漁業に関係するさまざまな項目について、あなたの満足度をお伺いします。

問1. あなたは、総合的に考えて、漁業者として働いていることにどの程度満足していますか。

あてはまる番号に○印をつけてください。



問2. 「問1」の回答の理由を記入してください。

問3. 次の各項目について、どのように感じていますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

	そう思う	思う まあそう	思わない あまりそう	思わない そう
(1) 漁業にやりがいを感じている。	1	2	3	4
(2) 漁業者としての自分の将来に希望を感じている。	1	2	3	4
(3) 国民に食料を供給する責任ある仕事だと思う。	1	2	3	4
(4) 自分の能力が活かせる仕事だと思う。	1	2	3	4
(5) 自分の生産物に誇りをもっている。	1	2	3	4
(6) 地域ブランドに誇りをもっている。	1	2	3	4
(7) 自然に恵まれた環境での仕事だと思う。	1	2	3	4
(8) 定年が無く、体力と意欲が続く限り働き続けられる。	1	2	3	4
(9) 仕事を通じて人として成長できると思う。	1	2	3	4
(10) 能力向上（試験、研究、研修、講習会等）の機会に恵まれている。	1	2	3	4
(11) 自分には明確な経営目標がある。	1	2	3	4
(12) 現在の漁業経営の規模を拡大したい。	1	2	3	4
(13) 他の漁業者と連携しての共同生産に興味がある。	1	2	3	4
(14) 後継者がいる。（見込みを含む）。	1	2	3	4
(15) 地域に尊敬できる漁業者がいる。	1	2	3	4
(16) 必要なときに他の漁業者に相談できる環境にある。	1	2	3	4
(17) 地域には漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援できる環境がある。	1	2	3	4

【次ページあります】

	そう思う	思う まあそう	あまり 思わない	そう 思わない
(18) 近隣住民とのつきあいが多く、 <u>地域とのつながり</u> が深い。	1	2	3	4
(19) 地域の郷土食や祭り等の <u>伝統や文化</u> を大切にしている。	1	2	3	4
(20) <u>消費者と対話</u> する機会を確保している。	1	2	3	4
(21) 所属する <u>漁協の組織運営や経営方針</u> に共感している。	1	2	3	4
(22) 所属する <u>漁協の目指す姿</u> （「地域再生営漁計画」等） を理解している。	1	2	3	4
(23) 地域の漁業者は <u>ルール</u> を守って操業している。	1	2	3	4
(24) 十分な <u>漁業権の行使機会</u> に恵まれている。	1	2	3	4
(25) 必要なときに <u>漁協に相談</u> できる環境にある。	1	2	3	4
(26) 地域には年齢、経験、性別に応じて <u>漁業生産の</u> <u>役割を發揮</u> できる環境がある。	1	2	3	4
(27) 現在の自分の <u>仕事量</u> は妥当なレベルだと思う。	1	2	3	4
(28) 現在の自分の <u>仕事時間</u> は妥当なレベルだと思う。	1	2	3	4
(29) <u>休日や休暇</u> は満足いくレベルで取得できている。	1	2	3	4
(30) 漁業生産のための十分な <u>労働力</u> が確保できている。	1	2	3	4
(31) 漁業生産のための十分な <u>設備・機器</u> が整っている。	1	2	3	4
(32) <u>漁場の生産環境</u> は良好である。	1	2	3	4
(33) <u>生産物の単価</u> は妥当な水準だと思う。	1	2	3	4
(34) <u>生産物の評価基準や評価体系</u> は明確だと思う。	1	2	3	4
(35) 現在の自分の <u>収入</u> は妥当な水準だと思う。	1	2	3	4
(36) 自分の <u>努力</u> は収入に反映されていると思う。	1	2	3	4
(37) 満足な <u>住環境</u> が確保できている。	1	2	3	4
(38) <u>生活必需品</u> がいつでも買える環境が確保できている。	1	2	3	4
(39) 必要な <u>情報</u> を入手できる環境にある。	1	2	3	4
(40) <u>交通の便</u> に不自由しない環境にある。	1	2	3	4

◆ 新規漁業就業者の確保・育成のための御提案や御意見がありましたら記入してください。

◆ あなたご自身のことについてお伺いします。各項目にお答え願います。

・ 所属	_____ <u>漁業協同組合</u>		
・ 属性	<u>指導漁業士</u>	・	<u>青年漁業士</u> ※どちらかに○
・ 性別	<u>男</u>	・	<u>女</u> ※どちらかに○
・ 年齢	満 _____ 歳		
・ 漁業就業期間	_____ 年間	※家族従事者(手伝い)としての就業期間も含めた通算期間	
・ 主な漁業種類	<u>漁船漁業</u> ・ <u>養殖業</u> ・ <u>採介藻漁業</u> ・ <u>その他</u> ※主なもの1つに○		
・ 年間収入	<u>漁業収入</u> 約 _____ 万円		
(平成 27 年度)	<u>漁業外収入</u> 約 _____ 万円		
	<u>合計</u> 約 _____ 万円		

設問は以上です。御協力ありがとうございました。

平成 29 年度 漁業担い手満足度調査結果報告書

平成 30 年 4 月

岩手県農林水産部水産振興課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1

電 話 019-629-5806 F A X 019-629-5824